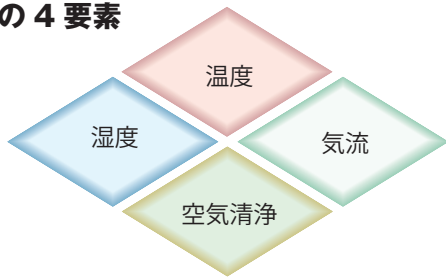


空調

感染対策における重要な空調キーワード

空気調和の4要素



温度

患者さんの体調に配慮した安全性

湿度

- 適正な湿度維持
- 侵入ウイルスや菌の繁殖を抑制

空気清浄

菌・ニオイのない清潔環境

気流

院内感染を防ぐための空気の流れを配慮

室内の湿度を適正に維持することの重要性

湿度調整とは

細菌・ウイルスを抑制※図1

過乾燥による静電気の発生を抑制

老人性乾皮症を予防

のど・鼻の粘膜をうるおす※図2

暖房時の体感温度が上がる

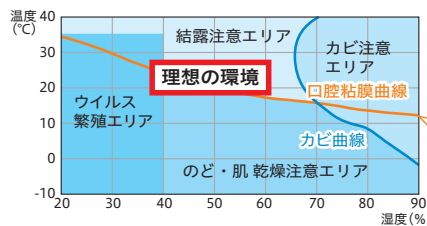
湿度調整とは、相対湿度を40～60%RHに保つこと ※冬季は暖房加熱により過乾燥が起こりやすい

図1 温度・湿度の違いによるウイルスA※、6時間後の生存率

| 湿度 | 20% | 50% | 80% |
|-----|-----|-----|-----|
| 32℃ | 17% | 1% | ≒0% |
| 22℃ | 66% | 4% | 5% |
| 10℃ | 63% | 42% | 35% |

建築物衛生法でいわれる22℃50%であれば、6時間後にほぼ96%死滅

図2 温度・湿度の違いによる快適環境エリア



カビやウイルスの環境を避けた、温度20～28℃、湿度40～60%が理想の環境

口腔粘膜曲線ののどの粘膜にとって最適な温度と湿度の曲線

※薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)の關係上、特定のウイルス名が表記できないため、ウイルスAと記載しています。

【無給水方式でメンテ不要の加湿機能付き空調、換気設備】

方式①

加湿機能付き壁掛けエアコン

給水設備は必要ありません!



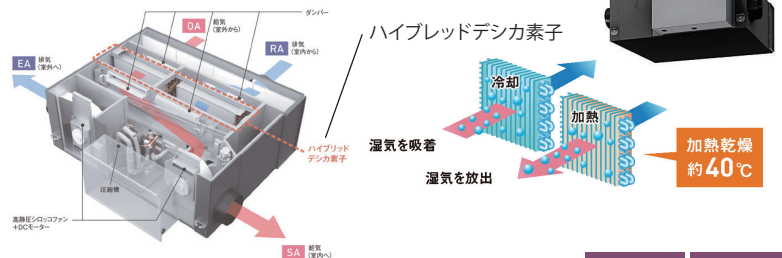
- エアコン室外機内に強力な「吸湿ユニット」を搭載。
- 空気中の水分を吸湿後、取り込んだ水分は、加湿ホースにより室内機に送り、温風にして居室内を加湿。
- 給水設備が不要で「水の溜まり部」のない衛生面にも優れたエアコン一体形方式。

無給水

方式②

デシカント式(換気+調湿)

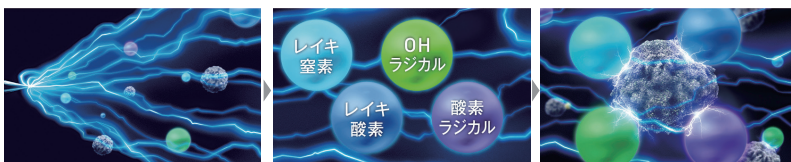
水配管のいらない加湿・除湿で、手間いらずの湿度管理
湿気を含んだ空気のままコントロールするので清潔



無給水 | ドレンなし

■空気中のニオイ、有害物質を分解する「ストリーマ放電」技術

ストリーマ放電とは、プラズマ放電の一種であるストリーマが、有害化学物質(ニオイ・菌類・ホルムアルデヒド等)を分解。その分解能力は、約100,000℃の熱エネルギーに匹敵。強力な分解力を持つ放電技術です。



ストリーマが高速電子を放出

空気中の窒素や酸素と衝突・合体し分解力を持つ4種の分解素を生成

分解素により分解力を生み出す

※P32～33からの『病院内における「空気のバリアフリー化」のご提案』もご覧ください

新築クリニックでの納入事例

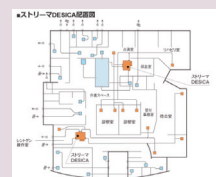
患者様に安心していただける空間を提供したい。

手間の掛からない潤い加湿と新技術で患者さんにもスタッフにも優しい環境を提供。



深沢内科クリニック様
(群馬県・藤岡市)

用途:クリニック(内科)
対象面積:約400㎡
採用機種:ストリーマDESICA×2台
氷蓄熱ビル用マルチVe-upIII G×10馬力
竣工年月:2009年8月



ユーザー様の声

- 無給水加湿で給水や清掃の手間が無い。
- 患者さまだけではなく、一緒に働くスタッフの健康面にも配慮。
- 最先端空気清浄機能で患者様に安心・安全を提供。
- 加湿の重要性を再認識し、小部屋にも無給水加湿ができるルームエアコンを設置。